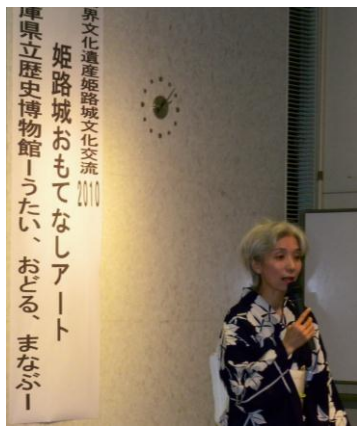


★姫路城おもてなしアート ①

2010年8月8日 兵庫県立歴史博物館—うたい、おどる、まなぶ



夏休み特別企画として、県立歴史博物館「仮面のひみつ」に協力し、仮面と獅子をテーマにセミナーを開催した。親子50組と一般客は日本の獅子や仮面の芸能について学び、体験して楽しいセミナーとなった。最後は館長も仮面をつけ、スライドによる世界の仮面について講義があった。

★姫路城おもてなしアート②

2010年9月23日 姫路城西御屋敷跡庭園好古園—舞・奏・雅の世界



秋しぐれ 打込お鼓 しづく切る
 笛鼓の 彩を濃くしぬ 水引車
 式部の実 古典雅に 奉賀舞
 一管の 音色昂ぶる 萩の風
 秋淋し 笛の調べも 琴の音も
 しらすぎの 奉賀の舞や 萩の園



池内多恵子
 益田民代
 植原嘉栄
 笹山穂草
 小谷敦子
 北詰宜子

秋雨の降りしきる好古園で、庭園の滝の音を聞きつつ和楽器演奏と舞が披露されました。プロの演奏家による日本の音色、姫路城奉賀の優雅な舞は、日本独特の庭園で伝統文化を堪能させるにふさわしく、観光客から感嘆の声が上がりました。俳人たちも句を詠み風雅なひとときとなりました。

★姫路城おもてなしアート⑥

2010年12月12日「姫路城のお話」 兵庫県立武道館



福永姫路市教育委員会文化財課長の「姫路城と世界遺産」の講演が行なわれ、世界文化遺産について学びの機会を提供しました。その後市民参加による「着付けショー」「手品」等で多くの参加者が楽しみました。

★文化往来 100人劇場 第五回 兵庫県立武道館

2010年12月12日『文化で街づくり・人づくり提言』『武道と茶道』



千本操氏と岸本信夫氏による「武道と茶道」について対談が行なわれました。茶道と武道の共通点を見い出し、日本文化の伝統を守り伝えていこうと言う熱意が伝わりました。最後に大学生によるお茶とお菓子が振る舞われ、世代を越えた和やかな交流が進みました(写真 ボランティア大学生と講師)

